





ふりがな 氏名	かやのま りんたろう	都道府県	東京都	
	栢之間 倫太郎			
所属/肩書	八王子市立上巻分方小学校 / 教諭			
私のESD活動	小学校における SDGs の学習を通じた ESD 実践による、 児童・地域の変容			
関心・活動の SDGs				

活動の概要

小学校6年生の児童に対して、SDGs を題材とした調べ学習を展開している。興味を持った世界の課題を SDGs と関連させてグループで調べ、学年や保護者、教職員の前で現状や展望、自分たちに出来ることを発表した。発表の特色として、聞き手を巻き込むアクティビティを扱うことを条件とした。これにより児童は相手に深く考えさせる仕掛けを作るため、主体的に調査や話し合いを重ね、自分たちの「伝える力」によって SDGs の達成に貢献するという経験を積んだ。

この学習を通じた児童の変容は大きかった。持続可能な世界を目指すべき理由やその価値を捉えた児童は、世界の諸課題についての自主的な学習を継続した。また、他教科の学習中に児童が学習内容と SDGs の関連を指摘することも多くあり、「勉強、全部 SDGs につながるじゃん！」と言った児童には賛同の声があがった。学習前と比較して、SDGs という軸を得た多くの児童の学習意欲が向上した。

また、変容は地域の保護者にも現れ、平日に行った児童の発表会には、仕事を抜けるなどした十数人の保護者が集まった。参加者からは我が子の発表内容への驚きと共に、自分も何かしたくなったという声を聞くことができた。実際に子供に促されてリサイクルを意識し始めたという家庭もあり、児童が持続可能な世界を考え学ぶことが地域に変化を与えたことが確認できた。

・「JICA 2017 年度 教師海外研修の成果」 <https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2017/ku57pq0000hwd9w.html>
 ・https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/report/2017/ku57pq0000j6pf6-att/report_07.pdf

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

教育活動に様々な人々を巻き込み、関わる人数を増やしてより視野を広げることで、加速度的に本校の ESD を発展させ、地域に変化をもたらしたい。現在は二つの方向性を考えている。

一つ目は、より多様な角度から地域を巻き込んでいくことである。コンファレンスでの気づきを生かし、地元の企業や NPO、自治体などと積極的に連携をとり、ESD を通じて児童の力で持続可能な町づくりを推進していきたい。ゴミ問題や高齢者の交通手段の課題など、地域には児童が気づく課題も多い。関連する企業等とのタイアップにより解決を目指すことで、児童も今後につながるかけがえのない自己有用感を得ることができると考えられる。

二つ目は、学校全体を巻き込み、校内に ESD の潮流を起こすことである。効果的な ESD のためには体系的な指導が欠かせない。そのために、コンファレンスでの成果や ESD のムーブメントの大きさを教職員の研修を通して伝え、次年度の年間を通じた授業研究主題に据えることを目指す。また、地域・保護者と学校を繋ぐ学校運営協議会とも協力し、持続可能な地域の実現のための地域行事の開催や、地域をあげた啓蒙活動も行っていきたい。